

プログラム名 (40字以内)	立山砂防の世界文化遺産登録に向けた「世界遺産×観光」フィールドスタディ		
団体名/所属	富山県観光資源活用室 世界遺産・ふるさと教育推進課		
活動区分	フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	5～10人程度	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	講座、現地活動		
参加者に求めるもの	学部・学科は限定しません。 以下の分野に関心のある学生の参加を希望しています。 世界遺産、文化財、立山砂防、砂防事業、観光振興、地域振興、まちづくり		
活動期間	①2026/9/14(月)～9/18(金)の5日間 ②2026/11/22(日)	主な活動予定場所	①講座：富山県防災危機管理センター (〒930-8501 富山県富山市新総曲輪1-7) 現地見学：立山カルデラ、他富山県内 ②世界遺産ユースサミット：富山県民会館 (〒930-0006 富山県富山市新総曲輪4-18)
プログラム実施の目的	立山砂防は、長年にわたり人々の命と暮らしを守ってきた歴史的な砂防施設であり、富山県ではこの立山砂防の世界遺産登録を目指した取組みを進めている。令和8年に立山砂防が直轄100年の節目を迎えるにあたり、その歴史と価値を次世代へ継承するとともに、未来を担う若者が主体的に世界遺産登録を見据えた地域の将来像を考える契機とし、世界遺産登録プロセスへの参加促進を目的とする。県内外の大学と連携し、文化資源の保全と活用を両立する持続可能な観光モデルの形成や、新たな地域づくりを考える。		
具体的な内容(800字程度)	<p>1. 「世界遺産×観光」フィールドスタディ 県内外の大学等と連携し、世界遺産登録を契機とした観光振興や地域振興をテーマとした課題を学生に提示し、世界遺産等に関する講座、立山カルデラ現地視察及び学生主体による現地調査を組み合わせた実践型学習を実施する。また、当該活動の成果については世界遺産ユースサミットにおいて発表する。</p> <p>【開催日程・プログラム】 ①令和8年9月14日(月)～9月18日(金)の5日間 ・講座内容：世界遺産、立山砂防の世界遺産登録の取組み、富山県の歴史・文化・砂防、文化資源の活用と観光施策、世界遺産を通じた地域振興 等 ・現地視察：立山カルデラ、他富山県内 ・グループワーク、地元関係者との意見交換 等</p> <p>②令和8年11月22日(日) 世界遺産ユースサミット(以下2)にて活動成果を発表 ※内容等は変更となる場合があります。 ※原則、全日程への参加をお願いします。</p> <p>2. 世界遺産ユースサミットin Toyama 学生が「立山砂防と世界遺産」、「世界遺産の活用と観光施策」等をテーマに発表・意見交換を行い、成果を提言文書にまとめる。</p> <p>【開催日程・プログラム】 ・令和8年11月22日(日) ・基調講演(世界遺産専門家等) ・学生発表(約10分×5グループ) ・ディスカッション、学生による「立山砂防ユースアクション宣言」を作成</p>		
【総額】参加するための費用	なし ※食事代は各自負担となります。		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	なし		
【内訳】参加するための費用(交通費)	なし		
【内訳】参加するための費用(その他)	滞在中の食費(5日間で10,000円程度)		
奨励金額(予定)	0円		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・交通費および宿泊費は、主催者が富山県の規定に基づき負担します。 ・交通費は、自宅または在籍大学から会場までの合理的な経路により実際に要した額を対象とします。 ・交通費及び宿泊費は各自で切符を購入のうえ立て替えていただき、後日、実費分を振込にて精算します。 ・宿泊先及び食事は、原則として、各自で手配していただきます。 ・本プログラムの実施にあたり、参加者の傷害等に備え、主催者において必要な保険に加入します。 ・申込みにより取得した個人情報、本プログラムの運営に必要な範囲でのみ使用します。 ・本プログラムの様子を撮影します。撮影した写真やコンテンツ、作成資料等は、富山県及び国土交通省のHP・SNSや広告物・刊行物等への掲載に利用することがあります。 ・プログラムの内容等は、天候その他の事情により変更する場合があります。 		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	富山県庁： https://www.pref.toyama.jp/810221/miryokukankou/bunka/bunkazai/tateyamasabo/index.html		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		